

未来の自分は、どんなふうに働き、
どんなふうに暮らしているんだろう？



出雲はいつでも待っています。

企業・求人情報サイト「ジョブ・ナビIZUMO」では

出雲の企業情報をたくさん掲載しています。

今後の就職活動や業界研究の参考に、出雲の企業を少しのぞいてみませんか？



<https://www.kosuikyo.jp/>

企業の情報を
わかりやすく
掲載中！

グローバルに展開する企業や女性が活躍している企業など
特徴からも検索できます！

出雲と関わり続ける私たちになりませんか？

お問い合わせ

〒693-8530 出雲市今市町 70 番地 出雲市役所 産業政策課 雇用政策係
TEL.0853-24-7620 FAX.0853-24-7625 MAIL:koyou@city.izumo.shimane.jp

(平成 31 年 2 月発行)

想像してみよう、10年後の自分

出雲で働かなく。

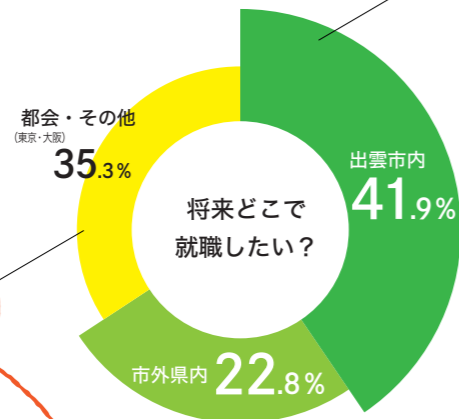
— という選択

みち

1. 将来どこで就職したいですか？

≫市内の高校生 136 名に将来の就職先に関するアンケートを行いました。^{※1}

※1 島根県立出雲商業高等学校の生徒を対象にアンケートを実施



出雲での就職を希望する理由

- 【1位】 家族、友人などがある
- 【2位】 出雲市に愛着がある
- 【3位】 生活環境が良いと思う／都会よりも出雲市で暮らしたい

◎出雲市内または島根県内で就職したい



◎県外で就職したい



意見も様々!

出雲市外での就職を希望する理由

- 【1位】 就職したい企業がない
- 【2位】 希望する職種がない
- 【3位】 出雲市以外で暮らしてみたい

2. 出雲の産業・企業について知っていますか？

≫出雲の企業や働く人の状況はどのようになっているのか、特徴を見てみましょう。^{※2}

製造品出荷額・農業産出額ともに県内第1位であると同時に、近年、商業集積も進んでおり、様々な産業が調和しているのが特徴です。

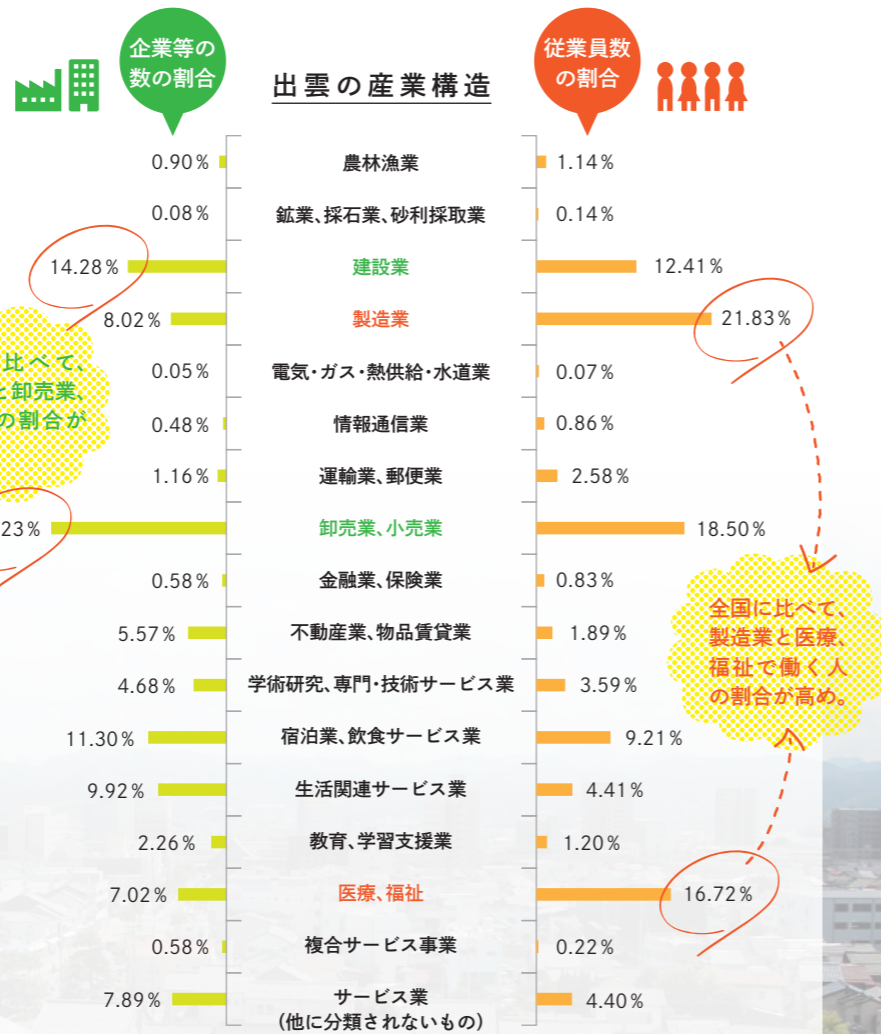
また、右のグラフは出雲の産業構造です。(市内の企業等の数は全部で6,009あります)

あなたのご家族や知り合いの方はどの産業で働いていますか？



※2 平成28年経済センサス活動調査、平成28年市町村別農業産出額(推計)

※産業分類の「公務」など一部の事業所は調査の対象外です。(数値は端数調整しています。)



全国に比べて、建設業と卸売業、小売業の割合が高め。

全国に比べて、製造業と医療、福祉で働く人の割合が高め。

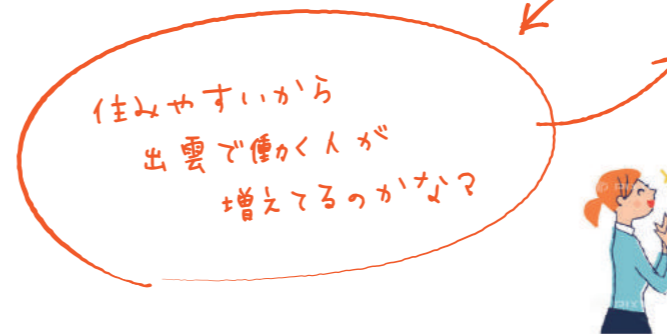
3. 全国から見た出雲

※3 東洋経済新報社 ※4 株式会社ブランド総合研究所による調査
※5 平成28年経済センサス活動調査 ※6 平成29年島根県人口移動調査

≫出雲市が客観的にどう見られているのか？

全国の数ある市町村の中で選ばれたのは、縁結びの地、古代ロマンの地として「出雲」が全国的に認知されていること、そして、医療・福祉施設の充実や、商業集積の進展などが評価されたと考えられます。

そして、出雲は就職の地としても多くの人に選ばれています。



◎住みよさランキング… 出雲市 中四国 3位

(公的統計をもとに「安心度」「利便度」「快適度」などを評価したもの)^{※3}

◎地域ブランド調査… 出雲市 中四国 3位

(自治体の認知度・魅力度などに関する全国の男女約3万人の回答をもとに決定)^{※4}

◎従業員の増加数… 出雲市 県内 1位

(平成24年から28年にかけて)
1位 出雲市: 2,390人、2位 松江市: 403人、3位 江津市: 174人^{※5}

◎就職・転職目的のUIターン人数… 出雲市 県内 1位

1位 出雲市: 380人^{※6}

4. 出雲で働き、暮らしたら…

≫出雲で働くことのメリットは？

生活時間配分などの調査等を見ると、帰宅時間が早いなどの特徴があり、ワーク・ライフ・バランスが実現しやすい環境と言えます。

◎帰宅時間の早さ… 島根県 全国 2位^{※7}

◎仕事時間の短さ… 島根県 全国 4位^{※7}

◎保育所数… 島根県 全国 1位^{※8}
(島根県・人口一人あたり)

【ワーク・ライフ・バランス】

やりがいや充実感を感じながら働くと同時に、子育て・介護の時間や、家庭、地域活動など個人の時間を持つ健康で豊かな生活ができるよう、仕事と生活が調和すること。^{※9}

※7: 平成28年 社会生活基本調査
※8: 平成29年厚生労働省 社会福祉施設等調査
※9: 厚生労働省 HP より



個人の時間や、家族との時間が持てる!

子育てと仕事の両立がしやすい!



つまり…

ワーク・ライフ・バランスが実現しやすいってことだね!

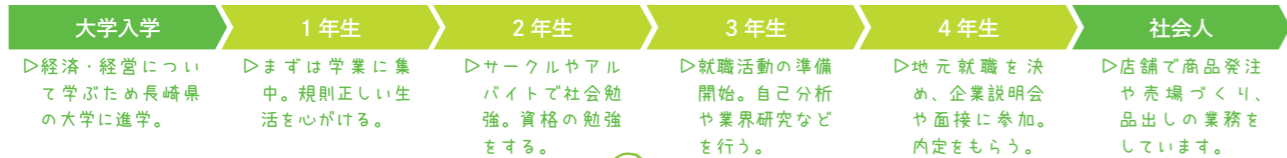


5. 先輩の声

▶出雲市または県内出身で、出雲で働く8人の先輩から、高校卒業後から就職までの経緯などを聞いてみました。



石原 純さん(株式会社 ウシオ) / 泉 卓樹さん(株式会社 大隆設計) / 糸賀 達也さん(株式会社 中筋組) / 大野 美穂さん(出雲市役所) / 尾原 美沙さん(島根県農業協同組合) / 土江 勇樹さん(株式会社 島根情報処理センター) / 林 祥子さん(株式会社 出雲村田製作所) / 米原 美紀さん(社会福祉法人 壽光会 特別養護老人ホーム 湖水苑) 氏名50音順



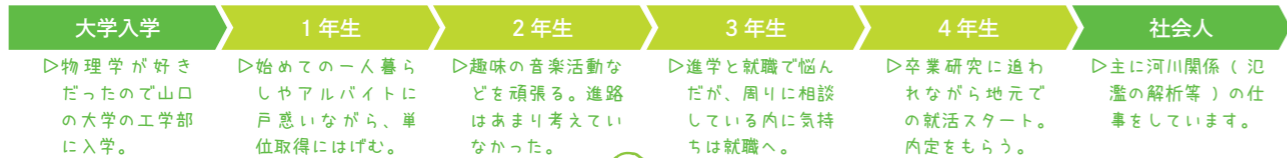
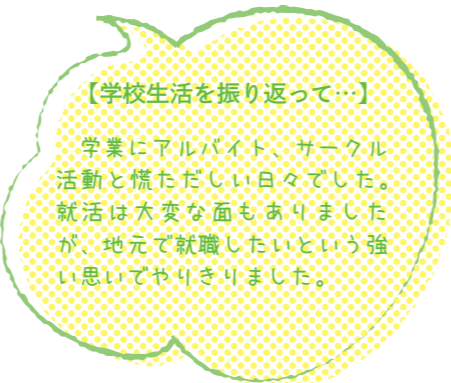
株式会社 ウシオ
石原 純さん
(入社3年目)

【今の企業に就職した理由】

就活は地元で貢献したい思いがあり、地元の小売業を中心に行いました。その中で、今の会社の他企業のお店にはない、特徴的な売場や、地域社会にしっかりと貢献しているところが魅力的に感じ、今の会社に決めました。

【今はこんなことをしています】

店舗で部門を担当し、商品の発注や売場づくりなどの業務をしています。接客が楽しくなるような売場を通してお客様に笑顔になっていただくことを目標に日々精進しています。休日は、友人と遊んだりドライブやランニングなどをしてリフレッシュしています。



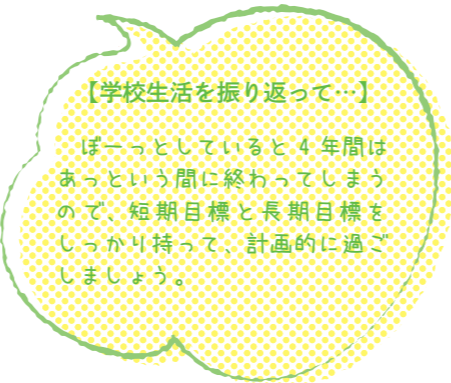
株式会社 大隆設計
泉 卓樹さん
(入社2年目)

【今の企業に就職した理由】

院への進学と就職で悩みましたが、教授や先輩に相談したり、県外で過ごしたことで、地元の企業に就職したいという気持ちが強くなり、今の会社に就職しました。研究室では河川を学んでいたため、自分が学んできた事が一番活かさそうだと思います。今の会社に就職を決めました。

【今はこんなことをしています】

普段、パソコンを使った計算や設計、図面の作成をしていますが、実際に現場で調査も行い、計画に取り入れています。若手社員でも大きな仕事を任せられるので、日々勉強の毎日です。休みの日は映画鑑賞やライブに行きついで過ごしています。



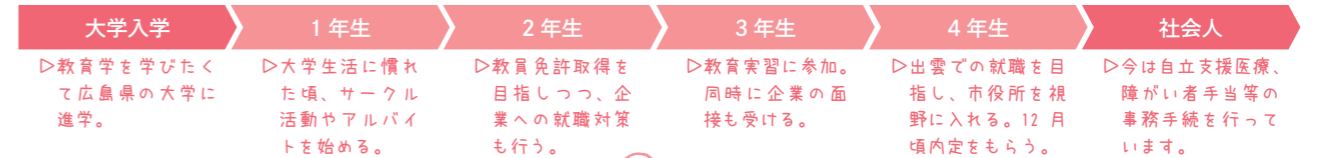
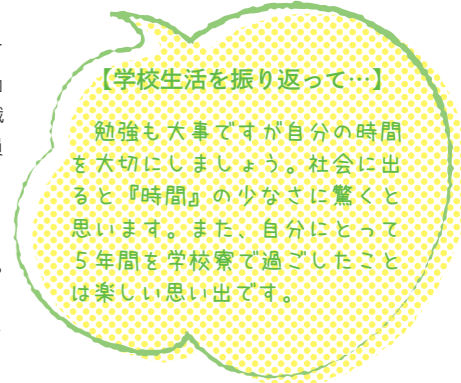
株式会社 中筋組
糸賀 達也さん
(入社2年目)

【今の企業に就職した理由】

就職は県内で、と考えていたので自分が学生時代を過ごしてきた出雲、松江で就活を行いました。学生時代から『ものづくり』に興味があったので、自分の街を創造していきたいと思い就職を決めました。また、インターンシップで訪れた際に先輩社員の方々の意見を伺えたことが参考になりました。

【今はこんなことをしています】

現場にて測量業務、品質管理、安全管理等を行っています。先輩の指導を受けながら管理の勉強をする日々です。休日は店舗を借りて自分の趣味であるゲームの自主イベントを開催したりしています。



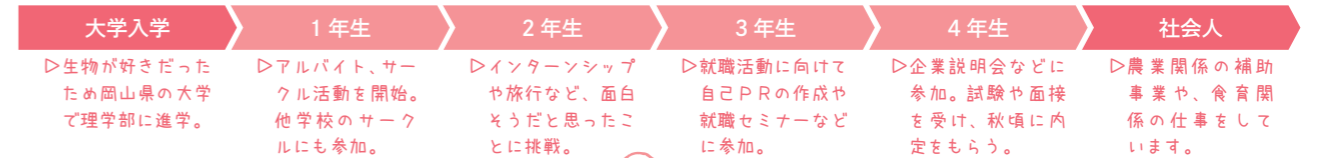
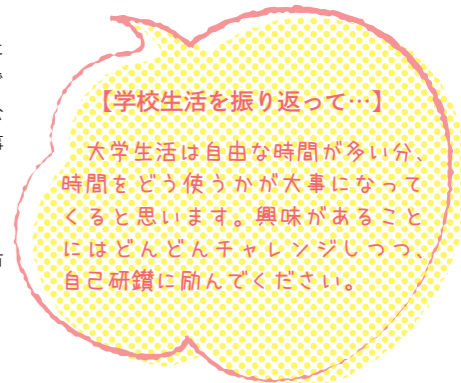
出雲市役所
大野 美穂さん
(入庁2年目)

【今の企業に就職した理由】

就職活動をする中で、生まれ育った出雲に帰って、出雲のために働きたいという思いが強くなりました。当初は一般企業での就職を目指しましたが、市民の方の生活と密接に関わり、公共的な面から人々の生活を支えることができる市役所での仕事に魅力を感じ、就職を決めました。

【今はこんなことをしています】

窓口での受付業務や担当業務の事務処理を行っています。市民の方に対して分かりやすい説明ができるよう心掛けています。休日は映画鑑賞や読書をしたり、長い休みがあるときは旅行に出掛けたりしてリフレッシュしています。



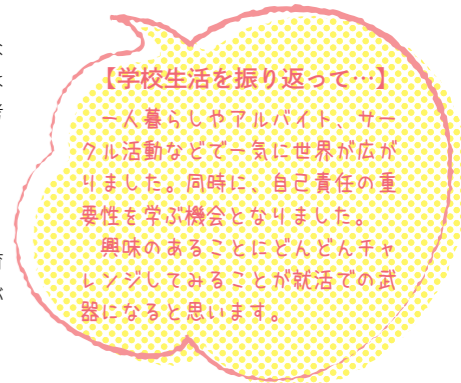
島根県農業協同組合
尾原 美沙さん
(入社3年目)

【今の企業に就職した理由】

県外で生活してみて、出雲の人柄の良さや、住みやすく穏やかな街であることに気が付き、出雲で働きたいと思いました。今の企業は様々な部門があり、多面的に地元を支え、根付いた企業であると考え就職を決めました。大学で学んだことと直接関係はしませんが、農業部門での仕事が魅力的だった点も就職を決めた理由の一つです。

【今はこんなことをしています】

営農部という部署で農業関係の補助事業を担当したり、食農教育の仕事を行っています。3年目になりますが、日々新しい課題にぶつかり勉強の毎日です。地元に戻ってきている同級生も多いため、一緒に遊びに出たり、悩みを相談し合えることがありがたいです。



6. 高校3年生のみなさんへ 「出雲と関わり続ける」こと

大学入学	1年生	2年生	3年生	4年生	社会人
▷ 数学教師を目指し、県内大学の数理・情報システム学科に進学。	▷ 部活やアルバイトをしながら電車通学。数学を学びつつ、情報分野も学んだ。	▷ 一人暮らし開始。興味のある情報分野の授業も受けていた。	▷ 友人と企業説明会へ参加。企業の魅力を知り企業就職の道へ。	▷ 県内の説明会に積極的に参加。今の会社に応募し内定をもらう。	▷ Webアプリケーションやスマホアプリの開発、設計をしています。

情報
通信業



株式会社 島根情報処理センター
土江 勇樹 さん
(入社7年目)

【今の企業に就職した理由】

プログラミングが好きだったのと、出雲で働くことができたら、家族の手伝いなどができるので今の企業に決めました。また、プログラミングは数学の証明に似ているところもあり、学んだ事を活かせると思ったからなのもあります。

【今はこんなことをしています】

プログラミング言語 Ruby を利用したアプリの開発などを行っています。最近は、開発チームのリーダーやマネージメントもしています。お客様とともにシステムを開発したり、子どもたちにプログラミングを教えたり、とてもやりがいがあります。休日は、登山や、スノボなどを楽しんでいます。

【学校生活を振り返って…】

大学生活では、勉強以外に、部活やアルバイトで社会人の人、県外の人とも関わりが持てるので、いろいろな体験や勉強ができました。そのことが、就職活動や今の仕事においてとてもプラスになっていると思います。

大学入学	1年生	2年生	3年生	4年生	大学院 1年生	大学院 2年生	社会人
▷ 宇宙や星の勉強がたくて広島県の大学の物理科に進学。	▷ 初めての1人暮らし。慣れた頃、アルバイトを始める。	▷ 専門授業が増え、まじめに(!!)勉強する。旅行にも行く。	▷ 将来どのような仕事をしたか考えながら、研究室を選択。	▷ 院に入る勉強と卒論執筆の傍ら、先輩から話を聞くなど就職準備。	▷ 就職活動スタート。メーカーを中心に企業説明会などに参加。	▷ 4月に内定をもらう。修士論文執筆と実験に明け暮れる。	▷ 製品の品質管理方法を決めたりしています。

製造業



株式会社 出雲村田製作所
林 祥子 さん
(入社5年目)

【今の企業に就職した理由】

高校生の時は、県外への憧れがありましたが、いざ出雲を出ると、両親や友達がいる地元の安心感、生まれ育った自然と皆さんの環境の良さに改めて気づきました。大学での専攻とやりがい考えた際、世界シェア No1 である出雲村田製作所が一番であると感じ、入社を決めました。

【今はこんなことをしています】

お客様により良い製品を提供するために、製品の品質管理方法を決めたり、他の部署の方と一緒に品質改善に取り組んでいます。休日は、会社の人とスポーツをしたり、友人とおいしいもの探しに出かけたりします。自然も多く、癒されています。

【学校生活を振り返って…】

長いようで、あっという間に過ぎた6年間でした。長期休暇もあり、時間がたくさんあるので色々な経験ができるチャンスだと思います。

短大入学	1年生	2年生	社会人
▷ 介護福祉や地域福祉を学ぶため、岡山県の短期大学に進学。	▷ 1人暮らしの不安もありつつ、アルバイトや地域行事、ボランティアに参加。	▷ 長期間の実習や卒論に取り組みながら、就職活動をし、8月に内定をもらう。	▷ 入居者様への日常生活支援や家族等との相談業務をしています。

福祉



社会福祉法人 寿光会
特別養護老人ホーム 湖水苑
米原 美紀 さん
(入社3年目)

【今の企業に就職した理由】

地元で貢献したいという思いがあり、出雲で働こうと考えていました。今の職場は、入居者様や職員全体の雰囲気が高く、働きやすい環境だと感じ就職を決めました。また、従来型の特別養護老人ホームから新たな介護スタイル「ユニットケア」へ移行に向けて動いている時期であったため、自分も携わりたいと思いました。

【今はこんなことをしています】

就職してから3年目になり、仕事にも慣れて楽しく働いています。仕事終わりなど、職場の人や同期と食事にいき、相談したり他愛もない話をして、息抜きをしています。また、休日にも旅行など、楽しく過ごしながら仕事を頑張っています。

【学校生活を振り返って…】

県外での違う環境で生活するのは、とても良い経験となりました。交友関係や知識の幅が広がり、この経験が今後にいかせると 생각합니다。

▶ 島根大学 丸山 実子 キャリア教育部門長からコメントをいただきました。



みなさんは、これから県外に出る人、出雲にいる人、社会人になる人、進学する人など、それぞれの進路に進むと思います。そんなみなさんへ、こんな考え方もありますよ、ということをお話しします。

これから10年後も、みなさんのふるさととは、ここ「出雲」です。

「出雲と関わり続ける」こと



10年後の自分



みなさんの中には、具体的な目標をまだ持っていない人もいるかもしれません。また、今、持っている目標や、めざすものが、途中で変わることもあるかもしれません。ここで、自分が10年後、どんなふうに生きたいか、どんなふうに暮らしたいか、どんなふうに働きたいか、まずは少し想像してみましょう。

そんな10年後の将来なんて想像できない人もいるかもしれません。その場合は、逆に10年前を振りかえってみましょう。今よりも勉強しなくて良かったし、学校行事も沢山あり、運動会、音楽会、入学式や卒業式など沢山の人の支えられていたね。そのような中で、様々な世代の人との出会い・支えがあったからこそ、今のみなさんがいるのではないのでしょうか。10年後はきっと、支えられる立場から、支える立場になっていることでしょう。

そして、近所には優しいおじいちゃん、おばあちゃんがいる話をしてくれたり、恒例のお祭りだって楽しかったでしょう？そこには地域の人達との関わりがあったと思います。

私がおすすりめしたいのは、出雲との関わりを忘れない… **「出雲と関わり続ける」**ことです。

地元の友達や仲間が離れ離れになっても、少しでも関わり続けることで、あなたにとって、もっと魅力的な出雲になると思います。

もし、100%関われないとしても、まわりにいる100%出雲と関わっている人と関わり続けることで、あなたも出雲と関わっていることに繋がります。

実は、今、県外から地元に戻ってくること＝Uターン者が増加していて、出雲に関わるために戻ってきた仲間が増えつつあります。

おわりに…



10年後を想像すること、「出雲と関わり続ける」ことを忘れない…そこには、「人」が存在します。どんな小さな出会いも大切にしましょう。出会いは、自分の道筋・未来を広げてくれる役割をもっています。**困ったときほど、一人で抱え込まないで「人」を頼ってみてくださいね。**

